

## 腎移植内科医養成コース

主たる研修病院 (所属病院)	東京都立大久保病院	
連携して研修する病院・ 施設(予定)	東京女子医科大学泌尿器科・腎臓内科	
研修時に必要と する知識・技量 (応募資格)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本内科学会認定内科医、腎臓専門医を取得していること。</li> <li>・筆頭著者の論文が1編以上あること。</li> <li>・チーム医療の一員として十分なコミュニケーション能力を有すること。</li> </ul>	
コース 責任者	氏名(所属)	若井幸子(東京都立病院大久保病院腎臓内科、副院長)
	資格名	日本腎臓学会評議員、日本内科学会指導医、日本腎臓学会指導医 日本透析医会指導医、日本内科学会総合内科専門医 日本腎臓学会専門医、日本透析医会専門医、日本移植学会認定医 日本臨床腎移植学会認定医
	専門分野	腎疾患一般、慢性腎不全、 腎代替療法(血液透析、腹膜透析、腎移植)
臨床指導体制	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 腎移植患者の術前術後管理、外来管理などの臨床業務を行い、腎移植症例の経験、腎移植のチーム医療の実践を学びます。</li> <li>2) 移植腎生検の手法習得(年間約80件)</li> <li>3) 腎内科回診・移植外科回診、透析チャートラウンド。</li> <li>4) 腎移植カンファランス、腎・移植腎病理カンファランス、東京女子医科大学泌尿器科腎移植カンファランスに参加。 カンファランスでの症例の分担発表。</li> <li>4) 透析カンファランス、内科カンファランスへの参加。</li> <li>5) 腎臓内科、透析、移植学会への参加および演題発表、論文投稿の指導。</li> <li>6) 希望により大学院入学。</li> </ol>	
臨床 研究	これまで 行ってきた 研究と実績	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 抗体関連型慢性拒絶反応の検討</li> <li>2) 移植後再発性IgA腎症の検討</li> <li>3) 高齢ドナー・高齢レシピエントの検討</li> <li>4) 高感作症例における抗CD20抗体製剤の治療効果の検討</li> <li>5) 腎移植患者のCOVID-19感染症の検討(血中抗体産生等の評価)</li> <li>6) 上記研究を国内学会(日本臨床腎移植学会、日本移植学会、移植腎病理研究会)、国際学会(ヨーロッパ移植学会、アジア移植学会)に発表。</li> <li>7) 上記研究内容や症例報告を和文、英文学会誌へ投稿。</li> </ol>
	今後行う 研究と 研究体制	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 移植後TMAの臨床研究(日本移植学会による)</li> <li>2) 抗体関連型慢性拒絶反応の治療法の検討</li> <li>3) 末梢リンパ球数と移植後感染症の関連性の検討</li> <li>4) ドナーの長期予後の評価検討</li> <li>5) 再発性腎炎の検討(IgA腎症、巣状糸球体硬化症等)</li> </ol>
研修項目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 担当医として入院患者を担当し、その後の外来診療に携わる。</li> <li>2) 免疫抑制剤投与管理の習熟</li> <li>3) 腎移植手術見学または参加(ドナー・レシピエント)</li> <li>4) 移植腎超音波検査、移植腎生検(年間80件)手法習得</li> <li>5) 学会・研究会での発表(年3回以上)</li> <li>6) 英文を含む論文執筆(年間2編以上)</li> <li>7) ジュニアレジデント及びシニアレジデントの指導</li> </ol>	
研修内容・達成目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 腎移植患者の診療能力の向上</li> <li>2) 腎移植患者(ドナー・レシピエント)の術前評価ができる。</li> <li>3) 移植腎超音波および移植腎生検の技術修得</li> <li>4) 未取得である場合は臨床腎移植学会認定または日本移植学会 腎移植認定の取得</li> <li>5) 腎移植関連の臨床研究を行い、国際学会発表、英文論文を作成する。</li> </ol>	
コース内容に関する 問合せ先	〒160-8488 東京都新宿区歌舞伎町二丁目44番1号 東京都立大久保病院 泌尿器科・移植外科 部長 白川浩希	